

オンライン開催も可能！ ITIL® 4 MP移行コースのご案内

☀ 概要

MP(Managing Professional)移行コースは、ITIL® v 3エキスパート資格をお持ちの方、およびそれに準じる方(*1)が、ITIL® 4の上位資格に移行するためのコンテンツを提供いたします。(株)ヒルアビットは、企業様からのお申込みベースで研修を随時スケジュールさせていただくとともに、多様な開催パターンをご提供し、皆様の資格移行をご支援いたします。

*1 ITIL V3認定から17クレジット以上保有される方

日数	<ul style="list-style-type: none"> 研修4日間 + 別日での試験 研修は9:30~17:00想定 	ご提供価格	個別にお見積り、お気軽にお問合せください
実施方法	<ul style="list-style-type: none"> オンライン研修 + 集合受験、または 集合研修 + 集合受験 	定員	1開催あたり3名様以上10名様まで
その他	<ul style="list-style-type: none"> オンライン研修は、ZOOMなどの利用を想定いたします 集合研修、集合受験は、お申し込み企業様の施設または弊社研修会場(*2)を想定いたします 詳細は、教育事業担当まで直接お問い合わせください。お見積りのご依頼もお気軽にどうぞ！ <p>*2 弊社会場 東京都港区三田2-7-13 TDS 三田ビル4F (株)ヒルアビット 試験会場</p>		

☀ 研修内容とAGENDA

当研修に含まれるITIL® 4ファンデーションおよび4種類の上位コースの概要と、4日間のAGENDA概要を以下にお知らせいたします。なお、事前学習はありません。

第1日	ITIL4 ファンデーション	<ul style="list-style-type: none"> サービスマネジメントの主要概念 ITIL の従うべき原則 サービスマネジメントの4つの側面 ITIL サービスバリュー・システム サービスバリュー・チェーン
第2日	作成、提供およびサポート CDS: Create Deliver & Support	<ul style="list-style-type: none"> サービスバリュー・ストリームを計画及び構築する プラクティスがCDS にどのように貢献するかを知る サービスを作成、提供及びサポートする方法を知る
第3日	利害関係者の価値を主導 DSV: Drive Stakeholder's Value	<ul style="list-style-type: none"> カスタマ・ジャーニーの設計方法を理解する エンゲージ 提案 オンボード 実現 共創
第4日	ハイベロシティIT HVIT: High Velocity IT	<ul style="list-style-type: none"> デジタル企業のハイベロシティ性 ハイベロシティIT の目標 デジタル製品のライフサイクルおよびITIL 原則、モデルおよび概念
	方向付け、計画および改善 DPI: Direct, Plan & Improve	<ul style="list-style-type: none"> 主な原則および手法を使用する方法を理解する GRC の役割とSVS への統合方法 組織変更の管理

☀ お申し込み、お問合せ

コースのお申し込み、お問い合わせはお電話 (03-6459-4750) またはinfo@hillabit.co.jpまでどうぞ。

ITIL®は AXELOS Limited の登録商標であり、AXELOS Limited の許可のもとに使用されています。すべての権利は留保されています。

☀ ITIL4の資格体系

ITIL4では、基礎となるファンデーション資格の上位に、実務的なIT担当者のためのマネージング・プロフェッショナル(MP)、およびIT組織のリーダーのためのストラテジック・リーダーシップ (SL) の2種類の資格が設けられています。

MP移行コースは、マネージング・プロフェッショナル資格を得る目的で提供されています。



Copyright© AXELOS Limited2020. Used under permission of AXELOS Limited. All rights reserved.

☀ ITIL4の背景と特長

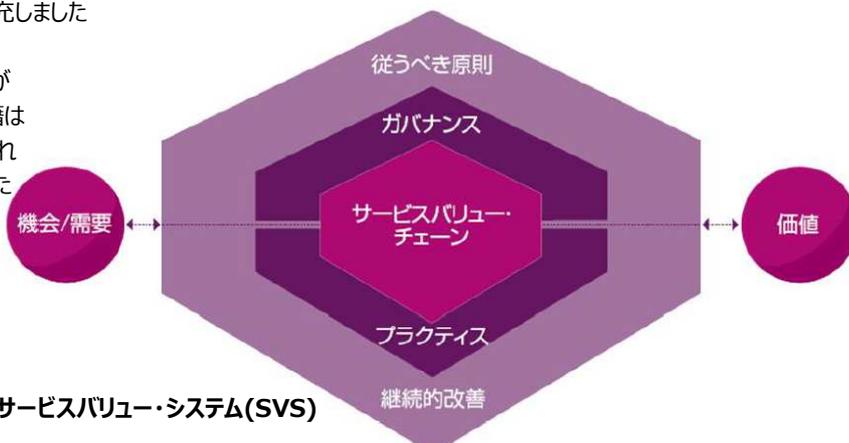
ITIL 4の背景

ITの進化が急激にビジネスを変化させる「デジタル・トランスフォーメーション」(DX)においては、ビジネス変革の方向性に合わせ、クラウド、IoT、ビッグデータ、AI、ロボティクスなど最新のテクノロジーをいち早く最も適した形態で活用することが成功の鍵となります。

ITIL 4は、このような社会的な変化と、それに伴う新たなベストプラクティスの提供を目的とし、DXの実現に必要な要素として、ガバナンス、リーン、アジャイル、DevOpsなどを取り込み、刷新されました。

ITIL 4の特長

- 価値の共創
サービスプロバイダーと消費者が協力して価値を創出する「共創」のモデルを提唱しています。
- サービスバリューシステム
ITIL v3に見られたライフサイクル・アプローチではなく、迅速かつ柔軟に必要な要素を組み合わせる「サービスバリューシステム」を採用しました。
- 優れた既存のフレームワークの採用と統合
上位コースでは、さまざまな組織論、マーケティング的な方法論（カスタマー・ジャーニー）、DXを実現する多様な思考法を扱い、従来のプロセスを重視した内容を大きく拡充しました
- 書籍の構成と資格体系を統一
ITIL4では資格ごとに対応するITIL書籍が提供されます。このためファンデーション書籍は全体の基礎となるコンテンツのみを、それぞれの上位コースで同様に専門分野に特化した内容を扱うよう整理されました。



Copyright© AXELOS Limited 2020. Reproduced under licence from AXELOS Limited. All rights reserved.



株式会社ヒルアビット Copyright© AXELOS Limited2020. Reproduced under licence from AXELOS Limited. All rights reserved.
(英称: Hillabit Corporation)

〒108-0073 東京都港区三田2-7-13
TDS三田ビル4F

TEL : 03-6459-4750 FAX : 03-6459-4758
URL : <http://www.hillabit.co.jp/>

ITIL®は AXELOS Limited の登録商標であり、AXELOS Limited の許可のもとに使用されています。すべての権利は留保されています。